

富良野GROUP特別公演

作・共同演出 倉本 聰
演出 中村 龍史

走る



人は何のために走るのか

何に向かって走るのか

2017年1月29日(日)

開場/13:30 開演/14:00

鈴鹿市文化会館けやきホール

全席指定(税込):一般前売り5,000円 当日5,500円

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

お問合せ:(公財)鈴鹿市文化振興事業団 TEL 059-384-7000 (平日8:30~17:15)

【主催】富良野GROUP特別公演「走る」鈴鹿公演実行委員会、フラノ・クリエイティブ・シンジケート (F.C.S.)、レディオキューブFM三重
【共催】(公財)鈴鹿市文化振興事業団 【協賛】(株)ゴールドウイン 【協力】(株)近畿日本ツーリスト北海道
【企画・制作】フラノ・クリエイティブ・シンジケート(F.C.S.)、富良野GROUP、オフィスひらめ



文化庁

平成28年度文化庁
劇場・音楽堂等
活性化事業

演劇の感動は、何故スポーツの感動に勝てないのだろう。そのことをずっと口惜しく考えて来た。恐らくそれは役者たちが日常を通して流す汗と涙と疲労の量が、アスリートたちの流すそれらの量に劣っているからにちがいない。

20年前そのことを思いつめ、富良野塾塾生を鍛え上げて「走る」というこの芝居の原型を作った。

人は何の為に走るのか。

何に向かって走るのか。

そもそも人類は何故急ぐこと、走ることを始めたのか。

それは何かから逃げる為か。それとも何かを追いかける為か。

これは、「走る」という意味を追い求めて「時のマラソン」を走り通す何とも過酷な舞台である。

全国からの応募者より厳選した役者、アスリート40名を一年近いワークショップとトレーニングで鍛え、漸く仕上げた汗と感動のドラマである。

この芝居が皆様の心に、夢と涙と明日へのエネルギーを喚起してくれれば、うれしい。

倉本 聰



倉本 聰

1935年、東京都出身。脚本家・劇作家・演出家。
東京大学文学部卒業後、1959年ニッポン放送入社。
1963年に退社後、脚本家として独立。1977年、富良野に移住。1984年から役者やシナリオライターを養成する私塾「富良野塾」を主宰。代表作に「北の国から」「前略おふくろ様」「風のガーデン」など多数。



中村 龍史

1951年、東京都出身。演出家・振付家・エンターテインメント作家。中村JAPANドラマティックカンパニー主宰。劇団四季の4期生を経て、1981年演出家としてデビュー。松任谷由実、小林幸子など数多くの舞台を手掛ける。2001年には「マッスルミュージカル」を創り上げ、2度に渡りラスベガス公演を成功させる。

作・共同演出
出 演

倉本 聰 演出 中村 龍史 音楽 倉田 信雄

東 誠一郎 伊藤 壮太郎 猪子 智史 大山 茂樹 勝又 啓太 久保 勝史 久保 隆徳 熊耳 慶
倉林 一成 小林 宏樹 齊藤 佳器 七里 海流クノー 篠木 隆明 シマハラ ヒデキ 水津 聡
竹原 圭一 TERU 黨 清信 中谷 一博 沼田 晃平 蓮井 佑麻 羽吹 諒 前田 隆成
曖昧 モコ おかえり 岡本 加奈 小野 洋子 加藤 千佳 菅野 恵 高野 璃奈 小林 可奈
酒井 波湖 須田 そより 中尾 晴実 林 りんこ 文 夏 星 果歩 松本 りき 三池 優
水野 江莉花 森上 千絵 Yurino (男女別・五十音順)

2017年1月29日(日) 開場:13:30 開演:14:00 鈴鹿市文化会館けやきホール
(鈴鹿市飯野寺家町810番地)

■入場料：全席指定 (税込) ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

一般前売り 5,000円 当日 5,500円

■主催：富良野GROUP特別公演「走る」鈴鹿公演実行委員会

フラノ・クリエイティブ・シンジケート(F.C.S.)、レディオキューブFM三重

■共催：(公財)鈴鹿市文化振興事業団 ■協賛：(株)ゴールドウイン ■協力：(株)近畿日本ツーリスト北海道

■企画・制作：フラノ・クリエイティブ・シンジケート(F.C.S.)、富良野GROUP、オフィスひらめ

■チケットのお求めは：2016年10月8日(土)より

午前9時より：鈴鹿市文化会館、鈴鹿市民会館

オープン時より：鈴鹿市観光協会(白子駅西)、鈴鹿ハンター

コメリ書房鈴鹿店、亀山市文化会館、中日新聞販売店

午前10時より：チケットぴあ (Pコード453-482)

WEB：エムズネット(三重県文化会館WEBチケットサービス)

■お問合せ：(公財)鈴鹿市文化振興事業団

http://www.s-bunka.net TEL 059-384-7000 (平日8:30~17:15)

※購入以後のチケット交換・返金再発行はお断りします。

■アクセス

